

書道選択生が作成した「手作りかるた」を 港・宮原両小学校へ贈りました

～雨の日など、外へ出られない時に遊んでください！～

12月10日(金)、普通科3年生「書道」選択の代表3名が、岩崎千穂先生の指導のもと製作した「手作りかるた」を贈呈するために、有田市立港小学校と宮原小学校に伺いました。

昨年から文化祭での作品発表に向けた取組として、何か地域に役立つ事ができないかと話し合い、「かるた」を作成して小学生の皆さんに贈ることにしています。4つのグループに分かれ、「ワンピースかるた」「こばなしかるた」「ディズニーキャラクターかるた」「アンパンマンかるた」のオリジナルかるたを、それぞれの読み札・絵札ともに作成しました。絵札には古紙を使用し、かるたの台となる厚紙は、空き箱等を再生利用しました。

選択生を代表をしてプレゼンター役を引き受けてく (どうぞ。皆さんで使ってください。)
れたのは、港小学校へは普通コース3年3組の 志水琴音 さんと 山家春華 さん。宮原小学校へは、同コースの九鬼友花さん。3名ともがそれぞれの小学校卒業生ということで、自身の出身小学校への訪問を申し出てくれたそうです。

まず岩崎先生、志水さん、山家さんが訪れた港小学校では辻本教頭先生に迎えていただき作成した2部のかるたを手渡しさせていただきました。辻本先生からは、「作成にはどれくらい時間が掛かりましたか?」「苦労した点はどこでしたか?」と尋ねていただき、和やかにお話をさせていただきました。港小学校卒業の2人は、「とても懐かしかった。足を運ぶことができて嬉しかった」と感想を述べてくれました。



(先生、昔遊びにお使いください。) 九鬼さんは「子供たちに紹介して、大切にに使わせていただくと仰っていただき、とても嬉しかったです。天気が悪く外で遊べないときに、このかるたを使って遊んでくれればと思います。」と述べてくれました。

また、来年の書道選択生も、この活動を続けてほしいと思います。



(プレゼンター役の2人です。)

